

ハザール・ファディル・アブドゥルジャバル・ダンマ研究員（イエメン）



はじめまして、私はイエメンから来ましたハザールと申します。私は2007年にイエメンのサナ大学を卒業し、2008年から水資源省に入省しました。現在は、同省で水資源政策課長として働いています。水資源省は、水資源管理の基礎的な方法論を用いて、水資源開発の分野に貢献することを目的としています。具体的には、衛生的な飲料水の提供、下水道設備の管理、砂漠化や汚染から水資源を保護すること、天然資源の確保、関連法律の適用および事業の実施し、地方・NGO・女性・プライベートセクターなど関係者をこれら活動へ積極的に参加させることなどを目的として活動をしています。活動を通じて、継続的な水資源の開発、公共福祉サービスの改定、貧困の軽減などを提供できると考えています。

最近の活動経歴としては、2008年にスペインで開催された国際エキスポサラゴサで、水資源省の代表団として働いた経験があります。また、2010年8月においては、落石・地滑りに関する災害リスク管理に係るトレーニングワークショップに参加しました。2012年12月においては、エジプトのカイロに於いて開催された、TSWRI(Training Sector for Water Resources and Irrigation)という水資源と灌漑に関するトレーニングコースに参加しました。

私は今年の8月からADRCの客員研究員として参加しました。この機会におきましては、私の国での得た経験をみなさんと共有し、日本および他の客員研究員の国の防災に関する知識を学びたいと思います。今回学ぶことができる経験は、自国に戻った際に、災害による被害軽減等に必ず役に立つと思います。また、先ほども述べた通り、私の国のイエメンにおいては水資源に関して現状たくさんの課題を持っています。滞在期間中は、関連するデータベースの構築や住民意識の向上など、どのようにすれば水資源管理の強化できるかを考えてみたいとも思います。